

優秀賞

# うめぼしとおばあちゃんの手

鹿児島県 鹿児島市立原良小学校一年 岩本 千明

わたしのおばあちゃんはりょうりがとてもじょうずです。

まいとしあかいしそでしそジュースをつくり、まいとしうめぼしをつくります。おばあちゃんは、もう三十ねんいじょうもまいとしうめぼしをつけています。じぶんはすっぱいのがにがてなのに、かぞくがよろこぶかおをみるのがうれしくてつくってくれます。そんなやさしいおばあちゃんが、わたしはだいすきです。

ことしのなつやすみ、わたしはおばあちゃんとうめぼしをつくるやくそくをしました。はじめてしたのは、うめぼしになるまえは青うめだということ。うめぼしをつくるにはたくさんのうめやしそやしおをよういします。それをひとつひとついねいにあらう、つけこみます。そのしごとはおもっていたよりもずっとたいへんでした。なんかいか日にあててほしている、うめは少しずつしわしわにな

っていきます。そのしわはおばあちゃんの手やしわにいています。やさしくてあたたくくて、ながい年月をかぞくのためにがんばってきた手です。わたしはその手を見ているとむねがじんときました。やっできたうめぼしを食べると、すっぱくて、ほっぺたがぎゅっとなりました。でも心はほかほかして、今までで一ばんおいしいとおもいました。

らい年もそのつぎの年もずっとおばあちゃんといっしょにうめぼしをつくりたいです。いつか、じぶんひとりですくったうめぼしを、おばあちゃんに食べてもらうのがわたしのゆめです。

さいごにだいすきなおばあちゃん、ずっとげんきでながいきして、たくさんのことをおしえてください。そして、としをとったら、こんどはわたしがおばあちゃんをしあわせにします。それがわたしのいちばんのおんがえしです。

